

英国王室に咲く
ボタニカルアート
と
ウェッジウッド
～植物画のおいたち～



開館時間：午前10時～午後6時、金曜日のみ午前10時～午後8時(入館は閉館の30分前まで)
旧井上房一郎邸内公開 午前10時～11時、午後2時～4時 庭園 1～2月：午前10時～午後5時、3月：午前10時～午後6時(入園は閉園の30分前まで)
休館日：毎週月曜日(祝日は開館し翌日休館)、祝日の翌平日【会期中の休館日 1/20(月)・27(月)、2/3(月)・10(月)・12(水)・17(月)・25(火)、3/3(月)・10(月)・17(月)】
観覧料：一般 600(500)円 大高生 300(250)円*()内は20名以上の団体割引料金。
*インターネット割引券をご提示で2名様まで()内の料金でご覧いただけます。

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方および付き添いの方1名は無料でご覧いただけます。

受付で手帳または障害者手帳アプリ「ミライロID」をご提示ください。

*65歳以上の方は無料でご覧いただけます。年齢の証明ができるもの(マイナンバーカード、運転免許証、保険証等)を受付でご提示ください。

*大学・高校生は大高生料金でご覧いただけます。学生証を受付でご提示ください。*中学生以下の方は無料でご覧いただけます。

主催・会場：高崎市美術館 協力：フィスカース ジャパン株式会社 後援：ブリティッシュ・カウンシル 企画協力：株式会社ブレントラスト

左下から時計まわりに1.ジョセフ・ダルトン・フッカー、ウォルター・フッド・フィッチ《マグノリア・カンベリイ(モクレン科)》1855年 リトグラフ、手彩色、紙 2.ビエール=ジョゼフ・ルドゥーテ《バラ「アメリカ」(バラ科)》1843年 銅版、手彩色、紙 3.ピーター・ヘンダーソン《ゲットウ(ショウガ科)》1801年 銅版、手彩色、紙 4.ライラック(モクセイ科) 1793年 銅版、手彩色、紙 5.シデナム・ティースト・エドワーズ《バンクラティウム・アマンカス(イスマンアマンカ)(ヒガンバナ科)》1809年 銅版、手彩色、紙 6.《モス・ローズ(バラ科)》1788年 銅版、手彩色、紙 7.シデナム・ティースト・エドワーズ《イクシア・チネンシス(アヤメ科)》1792年 銅版、手彩色、紙 8.ウェッジウッド《蓋付き深皿(クイーンズウェア)》1765-95年頃 クリームウェア(陶器)、エナメル彩
1～7:全て部分図 Photo Brain Trust Inc. 4～7:「カーティス・ボタニカル・マガジン」より 8:Photo Michael Whiteway

Botanical Art
and Wedgwood

2025.1.18^{sat}—3.20^{thu}
holiday

高崎市美術館
TAKASAKI MUSEUM OF ART

〒370-0849 群馬県高崎市八島町110-27 Tel 027-324-6125



英国王室に咲く ボタニカルアートとウェッジウッド ～植物画のおいたち～

18-19世紀の英国は、芸術と科学のかつてない隆盛をみます。なかでも植物学と陶磁器の発達は目覚ましく、人々の教養と生活の質向上に寄与して「啓蒙時代」の象徴となりました。

1760年に即位したジョージ3世とシャーロット王妃は世界各地の植物収集や国内の庭園整備を支援し、王室と植物学との繋がりを深めました。当時アメリカ大陸や東アジアからもたらされたエキゾチック(外来)な植物は植物学者のみならず多くの植物愛好家の関心をひき、植物学から派生した植物画(ボタニカルアート)が人気を集めました。

シャーロット王妃は陶磁器産業の発展にも貢献しました。1759年に創業したウェッジウッド社は王妃から「クイーンズウェア」の称号を与えられ、世界屈指の陶磁器メーカーとしての地位を確立します。市民にも手の届く製品を生み出した同社の製品は、上流階級から中産階級まで幅広い層に愛好され、現在も高い人気を誇ります。

本展覧会では、ボタニカルアートを代表する植物図鑑『カーティス・ボタニカル・マガジン』を中心とした植物画の優品と、ウェッジウッドほか英国陶磁器の名品を紹介します。



1.ウェッジウッド《平皿「ダーウィン・ウォーター・リリー」(ダーウィン・サービスより)》1808-11年 アースンウェア(陶器)、エナメル彩 2.ウェッジウッド《ポルトランドの壺》19世紀(1790年デザイン) ジャスパーウェア(炻器) 3.ウースター《ティー・セット「クイーン・シャーロット・パターン」》1755-75年頃 磁器、金彩、エナメル彩 4.ジョセフ・ダルトン・フッカー、ウォルター・フッド・フィッチ《マグノリア・カンベリ(モクレン科)》1855年 リトグラフ、手彩色、紙 5.ピーター・ヘンダーソン《ゲットウ(ショウガ科)》1801年 銅版、手彩色、紙 6.『カーティス・ボタニカル・マガジン』より シデナム・ティースト・エドワーズ《パンクラティウム・アマンカス(イスマンアマンカ)(ヒガンバナ科)》1809年 銅版、手彩色、紙 7.ピエール・ジョゼフ・ルドゥーテ《バラ「アメリ」(バラ科)》1843年 銅版、手彩色、紙 1,2:Photo Michael Whiteway 3,4,5,6,7:Photo Brain Trust Inc.

関連事業

1,2の申込み予約は1月9日(木)10:00より高崎市美術館 027-324-6125 で電話受付します。いずれも内容の変更あるいは中止となる場合があります。最新情報はホームページまたはSNSでご確認ください。

1.講演会「英国ボタニカルアートの歩み」

日時:3月8日(土)14:00～(90分程度)
講師:大場秀章(東京大学名誉教授、当展監修者)
会場:高崎市南公民館 5階講義室
定員:50名(要申込み、予約先着順)
参加費:無料

2.ワークショップ「ボタニカルアートに挑戦！」

日時:2月8日(土)10:00～12:00
講師:奥西麻由子(群馬県立女子大学文学部准教授)
会場:高崎市南公民館 5階講義室
内容:好きな植物画を組み合わせてトレースし、オリジナルのボタニカルアートを作ります。
定員:20名(要申込み、予約先着順/小学3年生以下は保護者同伴)
参加費:100円

3.ワークショップ「ミニバラキャンドルを作ろう！」

日時:2月8日(土)13:30～15:30の間随時
講師:奥西麻由子(群馬県立女子大学文学部准教授)
会場:高崎市南公民館 5階講義室 ※美術館と同じ建物
内容:ろうの花びらを巻いてバラの花の形のキャンドルを作ります。
定員:先着50名 ※申込み不要
※小学3年生以下は保護者同伴
※お待ちいただく場合があります
参加費:100円



4.学芸員によるギャラリートーク

日時:2月22日(土)・3月15日(土)いずれも14:00～
会場:高崎市美術館
参加費:無料(要観覧料) ※申込み不要



交通案内:JR高崎駅西口より徒歩3分
駐車場:駅前駐車場、西口サウスパーク、サウスパーク第2、高崎駅東口LABI1高崎をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示していただくと1時間の無料駐車券をお渡しいたします。

高崎市美術館
TAKASAKI MUSEUM OF ART

〒370-0849群馬県高崎市八島町110-27
Fax.027-324-6126

Tel.027-324-6125



展覧会のお知らせ
高崎市タワー美術館

収蔵作品展 日本画大辞典
2025年2月1日(土)～3月16日(日) お問い合わせ 027-330-3773